

ハンドブック
ワンポイント
レッスン

知っておきたい規則とルール

Question

小学生の娘は、ソフトテニスの少年団に入っています。先日は、全国大会の予選会に参加しました。以前から、硬式テニスに比べソフトテニスは相手選手を非難する応援が目立っていることに、嫌だなあと感じていました。(ちなみに娘の入団している少年団では、相手を尊重しようということから、コートに入って対戦中の選手は、試合中にラッキーも禁止、見ている仲間もレシーブ集中! くらいしか声を出さない。親もこちらのナイスショット時だけ拍手をするという決まりのようなものがありますのでほぼ守っています。)ところが、県のあちこちから試合で人が集まると、ベンチに入っていない親が、相手の打球がアウトカインが微妙なボールに対して、コートの外から大声で「アウト! アウト! ラッキー!」と言い、また、対戦相手がアウトした時には、子供たちがカウントも聞こえないくらい大きな声で「今の1本でっかい、でっかい、おっきい、おっきい、わっしょい、わっしょい、わーいわい!」と相手選手をバカにして、お祭り騒ぎのように騒ぎ立て、横にいる同じチームの大人も、「イケイケ! ヤレヤレ!」と掛け声をかけ始めました。そして、極めつけが、相手の選手に太ったお子さんがいたとき、「あの太った奴だけ狙え! 振って振って取れなくなるまで狙い続けろ!」と、試合中に自分の子に指示する人もいました。私はあまりにもフェアプレーではないと感じ改善されることを願い、県で統一した応援の仕方にならないものかと、県のソフトテニス連盟に相談しましたが、「硬式テニスと違って特別細かなルールがないのもソフトテニスの良いところである。」と思ってもよめ回答が…(侮辱が良いこと…?)。「これから、選ばれた選手は県の代表として全国大会に行くのに、あのような応援をして品格を疑われるのでは?」といったら、「全国みんなそうだからいいんだ」というのです。これは、本当でしょうか? ソフトテニスとは、全国大会でもこんなに相手を大きな声で侮辱したり、ベンチに入っていない人が試合に口を挟んで指示したり、相手を動揺させたり、体型の事を言ったりして傷つけていいのでしょうか? ほかのスポーツを引き合いに出すのは違うかもしれませんが、息子が剣道をしているので先日大会に行きました。そのとき、大会長は子供たちにこう話されました。「君たちには、相手がいてくれるから試合が成り立つのです。相手に敬意をもって尊重し合い、相手と思いを一つに呼吸を合わせ、正々堂々と対戦するように」「剣道を通じて、人に対する礼儀、思いやりの心を育て、立派な大人に成長して行ってほしいです。」と素晴らしい言葉だと思いました。スポーツによってこんなにも違うのかと…驚きです。以上長文のメールになり失礼しました。実際ソフトテニスとはどういう応援が正しいのか教えて下さい。

Answer

正審はマッチの進行に支障があると認める行為等に対して、そのマッチが行われているコート外(スタンドや通路)の応援団等にも注意の喚起ができる。必要がある場合は、大会委員長に連絡し対処を依頼する。

平素よりソフトテニスに深い関心を持たれておられる方からの「正しい応援のあり方」についてのご質問だと受け止め、あらためて大会会場の応援の現況からどのようなお答えをすればよいか、胸が痛みます。

今回の質問は、応援のあり方があまりにもフェアプレーでないと感じられ改善できないか、また、統一した応援の仕方にならないものかの二例から、お互いに考えてみたいと思います。

ソフトテニス競技には他の競技と同様にルールがあり、マナーを守り、フェアプレーでプレーをし、観衆に対しても一度やってみたいと思わせる大衆スポーツとして普及していると自負しています。しかしながらこれらのルールは、プレーヤーに対して事細やかに取り決めがしてありますが、見る側の観衆や応援者たちに対しての取り決めは分かりにくいのが現状です。ソフトテニス競技では、応援する方々に鳴り物(太鼓や笛等)を利用しての応援は禁止、また、インプレー中は静かに見て頂く様お願いしています。

それ以外に、応援者がどんな応援をすると良くなく、どんな応援が良いと思えるのかについては、特に規定はありません。しかし、審判台に座っている正審は「マッチの進行に支障があると認める行為等に対しては、関係者に注意を喚起する事ができる(審判規則第19号注意の喚起)ことが条文で取り決めてあります。そして【度が過ぎる】場合は退場させる事が出来るようになっています。応援に来られる方々の気持ちは千差万別です。応援に来られる方々に応援の仕方に事細やかに制限を加えたり、統一した応援の仕方であったとしたら応援は楽しく出来るでしょうか。ある程度声を出したりしてプレーヤーに応援者の気持が届いて、それが力に変わるところがプレーヤーと応援者が一体となり、応援者もエキサイトする場面が出るのだと思います。ここで質問者によれば「あの太った奴だけを狙え!」と体型のことを言葉にしていたようですが、これは応援者の直感的な表現で、よい表現ではないと思います。また、この表現はプレーヤーに対してコーチ(指導)をし

ているとも受け止められます。

我々は、自由な気持ちで応援をしていただき、格調高いスポーツとして品格を疑われるような応援はされないようをお願いしたいと願っています。

さて、指導段階で「相手に敬意を持って尊敬し合い、相手と想いを一つに呼吸を合わせ」は素晴らしい言葉で尊敬いたします。否定するわけでは有りませんが、スポーツ界における勝負の世界は相手の1つ先の手であったり、相手とはちがう事を仕掛けることで勝利できるし、勝利を誰も希望していると思います。応援も同じことが言えるように思いますが如何でしょうか。

マナーを尊重し、相手を不快にする発声をしない事に注意して応援をされますと、プレーヤーも元気が出るし応援者も一体感を持って楽しく時間を過ごすことができるのではないのでしょうか。皆さんの応援が「あの応援は素晴らしい」と言える様にありたいものです。

この度の応援に対するご指摘を真摯に受け止め、大会運営に携わる者達と観衆の皆さんにご理解とご協力をお願いしてまいります。審判の役割として、マッチ中はプレーの流れを大事にイン・アウト等に集中し、後でクラブの指導者や保護者等に先程の応援について適切な応援をされる様に話し、今後不適切な応援をしない様に善処して行きたいものです。

【関連規則】

競技規則第15条（プレーヤーの心得）

第38条（禁止事項） 第41条（警告）

審判規則第19条（注意の喚起）及び【解説26】

第20条（警告）及び【解説27】

第40条（異議の申立て等の禁止）

ジュニア審判マニュアル

競技規則について

4. プレーヤーがよくわかっていなければならないこと （心得）

17. 警告

